

熊本市 感染症発生動向調査 速報

現在の流行状況

インフルエンザは減少中ですがまだまだ注意が必要です！

熊本市における第12週(3月21日～3月27日)のインフルエンザの報告数は、定点医療機関あたり9.88(定点数25、報告数247)となり、警報 終息基準値: 定点あたり10を下回ったため、警報レベルは解除となりました。一度インフルエンザに感染しても、別の型に感染することがありますので、引き続き感染予防に努めましょう。

【予防方法】


















- ① こまめに石鹸と流水でていねいに手を洗いましょう。
- ② 十分な栄養と休養をとり、規則正しい生活を心がけましょう。

【かかったかな?と思ったら】

- ① 早めに医療機関を受診しましょう。
- ② 咳のある時は、マスクを着用しましょう。病院にかかる際は、他の患者への感染防止のため必ず着用しましょう。
- ③ 人混みや繁華街への外出を控え、無理をして学校や職場等に行かないようにしましょう。
- ④ 水分を十分に補給しましょう。お茶でもジュースでも飲みたいもので結構です。

感染性胃腸炎にも注意しましょう！

熊本市の感染性胃腸炎の報告数は、定点あたり5.81(定点数16、報告数93)で、減少傾向ではありますが、報告数が多い状態が続いています。感染性胃腸炎は、食品から感染したり、人から感染する場合があります。ていねいな手洗い・うがいを行う、食品はきちんと加熱して食べる、患者の便・嘔吐物を片付ける際にはマスクと手袋を着用し次亜塩素酸ナトリウムを使用するなど、感染予防に努めましょう。感染すると、発熱、下痢、吐き気、嘔吐、腹痛などの症状があります。感染した場合には、水分と栄養の補給を十分に行い、脱水などの症状がひどい場合には、医療機関を受診しましょう。

期 間		平成28年 第11週		平成28年 第12週	
		3/14～3/20		3/21～3/27	
疾患名	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ 		371	14.84	247	9.88
RSウイルス感染症		8	0.50	9	0.56
咽頭結膜熱(プール熱)		8	0.50	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		36	2.25	31	1.94
感染性胃腸炎		110	6.88	93	5.81
水痘(みずぼうそう)		4	0.25	1	0.06
手足口病		2	0.13	1	0.06
伝染性紅斑(りんご病) 		24	1.50	16	1.00
突発性発しん		14	0.88	13	0.81
百日咳		0	0.00	0	0.00
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		20	1.25	17	1.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		10	2.00	23	4.60
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		2	0.40	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		11	2.20	3	0.60
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		4	0.80	15	3.00